

認定書

国住指第 2981 号
平成 24 年 1 月 17 日

オメガプロダクツジャパン株式会社
営業部長 横山 真 様

国土交通大臣 前田 武志



下記の構造方法等については、建築基準法第 68 条の 26 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法第 2 条第八号並びに同法施行令第 108 条第一号及び第二号（外壁（耐力壁）：各 30 分間）の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号
PC030BE-2310
2. 認定をした構造方法等の名称
人造鉱物繊維断熱材充てん／アクリル樹脂モルタル仕上げ・アクリル樹脂モルタル・繊維混入セメント押出成形板・火山性ガラス質複層板表張／せっこうボード裏張／木製枠組造外壁
3. 認定をした構造方法等の内容
別添の通り

（注意）この認定書は、大切に保存しておいてください。

1. 構造名：

人造鉱物繊維断熱材充てん／アクリル樹脂モルタル仕上げ・アクリル樹脂モルタル・繊維混入セメント押出成形板・火山性ガラス質複層板表張／せっこうボード裏張／木製枠組造外壁

2. 申請仕様の寸法：

申請仕様の寸法を表1に示す。

表1 申請仕様の寸法

項 目	申 請 仕 様
壁の高さ	構造計算等により構造安全性が確かめられた寸法
壁厚	140.5mm以上
たて枠間隔	500mm以下

3. 申請仕様の主構成材料：

申請仕様の主構成材料を表2に示す。

表2 申請仕様の主構成材料

項 目	申 請 仕 様
たて枠(荷重支持部材)	材料：平成13年国土交通省告示第1540号に適合する壁のたて枠材 寸法：38×89mm以上
上枠、下枠	材料：平成13年国土交通省告示第1540号に適合する壁の上枠材及び下枠材 寸法：38×89mm以上
外装材	構成：①及び② ①下塗材 材料：1)及び2) 1)アクリル樹脂モルタル 組成(質量%)： アクリル樹脂+添加剤(酢酸ビニル等) 12.5(±1.3) 炭酸カルシウム 37.5(±4.0) 普通ポルトランドセメント 50.0(±5.0) 塗厚：2.5(±0.3)mm 密度：1.4(−0.2)g/cm ³ 以上 2)プライマー 材質：アクリル樹脂系炭酸カルシウム 組成(質量%)： アクリル樹脂+添加剤(二酸化チタン、プロピレングリコール等) 23.0(−7.7、+2.3) 炭酸カルシウム 77.0(−2.3、+7.7) 塗厚：0.1~1.0mm ②仕上材 材料：アクリル樹脂系塗料 組成(質量%)： アクリル樹脂+添加剤(二酸化チタン、プロピレングリコール等) 13.0(±1.3) 粗骨材(碎石、けい砂) 46~64(±5) 炭酸カルシウム 23~41(±3) 塗厚：1.5(−0.2)~3.0(+0.3)mm 密度：1.4(−0.2)g/cm ³ 以上

つづく

つづき

補強材	材料：耐アルカリ性グラスファイバーネット 厚さ：0.56(±0.05)mm以上 質量：140g/m²以上 メッシュ間隔：5(±1)×5(±1)mm												
外装下地材	材料：繊維混入セメント押出成形板 組成(質量%)： <table border="0"> <tr> <td>普通ポルトランドセメント</td><td>45(±4.5)</td></tr> <tr> <td>珪砂粉</td><td>41(±4.1)</td></tr> <tr> <td>有機質繊維</td><td>5(±0.5)</td></tr> <tr> <td>無機質混和材(Mg系滑材等)</td><td>7(±0.7)</td></tr> <tr> <td>メチルセルローズ</td><td>1(±0.1)</td></tr> <tr> <td>有機系発泡剤</td><td>1(±0.1)</td></tr> </table> 密度：1.0(±0.2)g/cm³ 形状： - 外形寸法 - 厚さ：14～25mm - 働き幅：455～1000mm - 長さ：910～3640mm - 端部形状 - 重なり：8mm以上 - 隙間：2mm以下 - 断面形状 - 最小板厚：13.2mm以上 - 模様深さ：0.8mm以下 - 容積欠損率：4%以下 (但し、板厚14mmを超える場合は裏面から14mmの位置での欠損率とする) - 目地部防水材 - 材料：合成ゴム - 使用量：3.5g/m 張り方仕様：横張又は縦張	普通ポルトランドセメント	45(±4.5)	珪砂粉	41(±4.1)	有機質繊維	5(±0.5)	無機質混和材(Mg系滑材等)	7(±0.7)	メチルセルローズ	1(±0.1)	有機系発泡剤	1(±0.1)
普通ポルトランドセメント	45(±4.5)												
珪砂粉	41(±4.1)												
有機質繊維	5(±0.5)												
無機質混和材(Mg系滑材等)	7(±0.7)												
メチルセルローズ	1(±0.1)												
有機系発泡剤	1(±0.1)												
構造用面材	材料：火山性ガラス質複層板(JIS A 5440) 厚さ：9～20mm												
断熱材	材料：①又は② - 住宅用人造鉱物繊維断熱材(JIS A 9521) - 人造鉱物繊維保温材(JIS A 9504) 種類：1)又は2) - グラスウール - 厚さ：50mm以上、密度：10kg/m³以上 - ロックウール - 厚さ：50mm以上、密度：20kg/m³以上 外皮：ポリエチレンフィルム(あり又はなし)												
内装材	材料：①又は② - せっこうボード(JIS A 6901) - 厚さ：9.5～15mm - 強化せっこうボード(JIS A 6901) - 厚さ：12.5～25mm												

4. 申請仕様の副構成材料：

申請仕様の副構成材料を表3に示す。

表3 申請仕様の副構成材料

項 目	申 請 仕 様
胴縁	材料：日本農林規格に適合する構造用製材又は下地用製材 寸法： 一般部；15×45mm以上 外装下地材目地部；15×90mm以上 取付間隔：500mm以下
転び止め	材料：日本農林規格に適合する枠組壁工法構造用製材 寸法：38×89mm以上
防水紙	材料：①又は② ①透湿防水シート(JIS A 6111) 材質：1)、2)又は3) 1) ポリエステル系 2) ポリエチレン系 3) ポリオレフィン系 厚さ：0.2mm以下 ②なし
気密材	仕様：①又は② ①あり 材料：1)、2)又は3) 1) 住宅用プラスチック系防湿フィルム(JIS A 6930) 材質：ポリエチレン 2) 包装用ポリエチレンフィルム(JIS Z 1702) 3) 農業用ポリエチレンフィルム(JIS K 6781) 厚さ：0.2mm 以下 ②なし
内装材用 目地処理材	材料：せっこうボード用目地処理材(JIS A 6914) 使用量：100(－10)g/m 以上
留付材	外装下地材固定用： 材料：①、②又は③ ①リングくぎ ②スクリークぎ ①、②の寸法：φ2.3×38mm以上 ③タッピンねじ 寸法：φ2.0×25mm 以上 材質：1)～5)の一 1) 軟鋼線材(JIS G 3505) 2) 冷間圧造用炭素鋼(JIS G 3507-2) 3) 機械構造用炭素鋼鋼材(JIS G 4051) 4) ステンレス鋼線(JIS G 4309) 5) 冷間圧造用ステンレス鋼線(JIS G 4315) 留付間隔：長さ方向 500mm 以下、幅方向 193mm 以下

つづく

つづき

留付材	胴縁固定用： 材料：太め鉄丸くぎ(JIS A 5508) 寸法：CN50以上 留付間隔：300mm 以下
	構造用面材固定用： 材料：①～④の一 ①太め鉄丸くぎ(JIS A 5508) 寸法：CN50以上 ②ステンレス鋼くぎ(JIS A 5508) 寸法：SFN50以上 ③シーリングボード用くぎ(JIS A 5508) 寸法：SN50以上 ④タッピンねじ 材質：1)～5)の一 1)軟鋼線材(JIS G 3505) 2)冷間圧造用炭素鋼(JIS G 3507-2) 3)機械構造用炭素鋼鋼材(JIS G 4051) 4)ステンレス鋼線(JIS G 4309) 5)冷間圧造用ステンレス鋼線(JIS G 4315) 寸法：φ3.0×25mm以上 留付間隔：外周部100mm以下、中間部200mm以下
	防水紙固定用(用いる場合)： 材料：ステーブル 材質：1)又は2) 1)ステンレス鋼線(JIS G 4309) 2)鉄線(JIS G 3532) 寸法：内幅9.6mm以上、足の長さ10mm以上 留付間隔：水平方向3000mm以下、鉛直方向1000mm以下
	気密材固定用(用いる場合)： 材料：ステーブル 材質：1)又は2) 1)ステンレス鋼線(JIS G 4309) 2)鉄線(JIS G 3532) 寸法：内幅9.6mm以上、足の長さ10mm以上 留付間隔：水平方向3000mm以下、鉛直方向500mm以下
	転び止め固定用： 材料：鉄丸くぎ(JIS A 5508) 寸法：N65以上 留付間隔：2本以上/1箇所

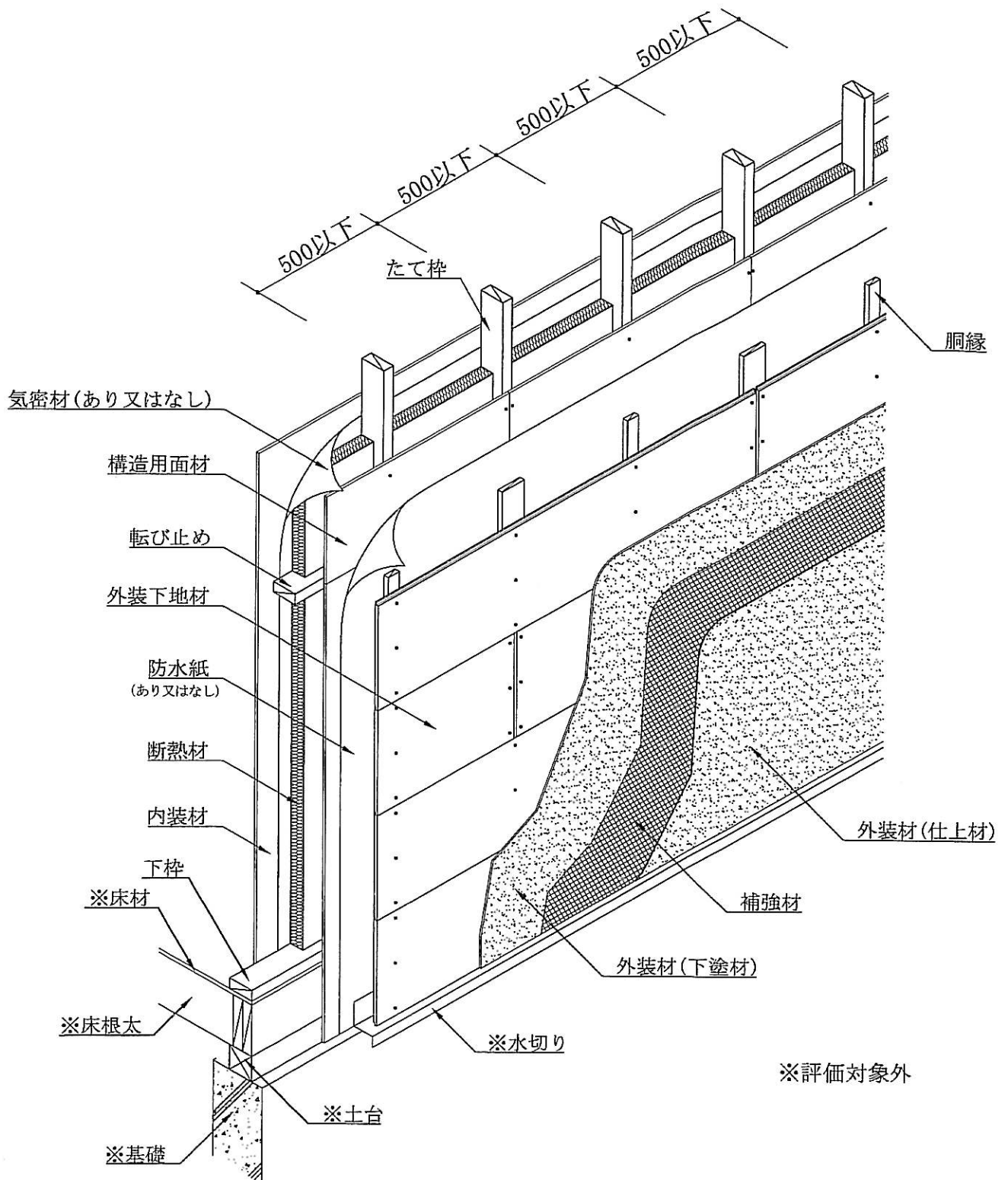
つづく

つづき

留付材	内装材固定用： 材料：①、②又は③ ①せっこうボード用くぎ(JIS A 5508) 寸法：GN40以上 ②十字穴付き木ねじ(JIS B 1112) 寸法：φ2.78×28mm以上 ③タッピンねじ 材質：1)～5)の一 1)軟鋼線材(JIS G 3505) 2)冷間圧造用炭素鋼(JIS G 3507-2) 3)機械構造用炭素鋼鋼材(JIS G 4051) 4)ステンレス鋼線(JIS G 4309) 5)冷間圧造用ステンレス鋼線(JIS G 4315) 寸法：φ3.0×25mm以上 留付間隔：外周部150mm以下、中間部200mm以下
-----	---

5. 申請仕様の構造説明図：

申請仕様の構造説明図を図1～図3に示す。



透視図

図1 構造説明図

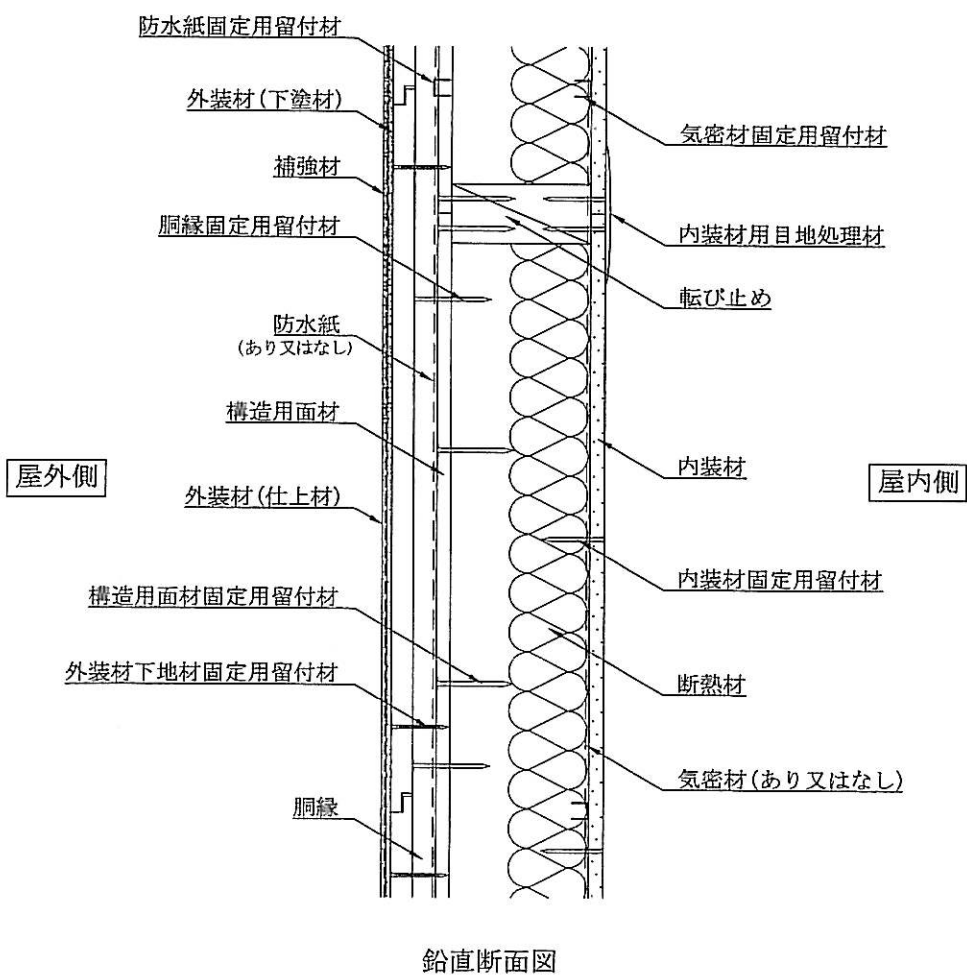
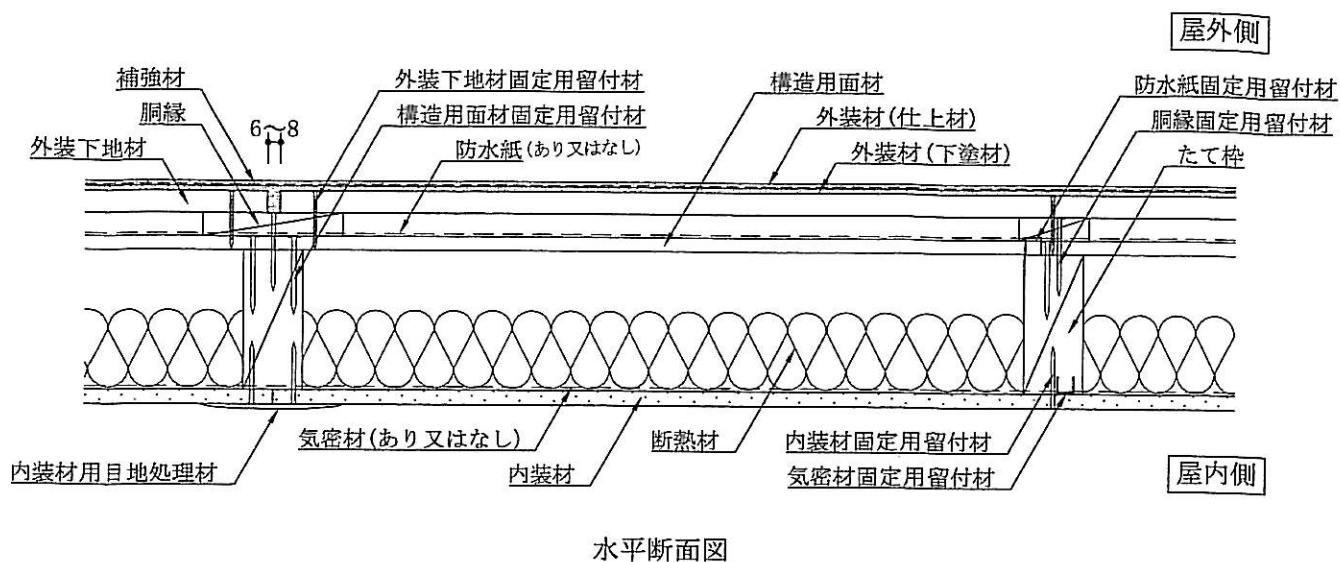
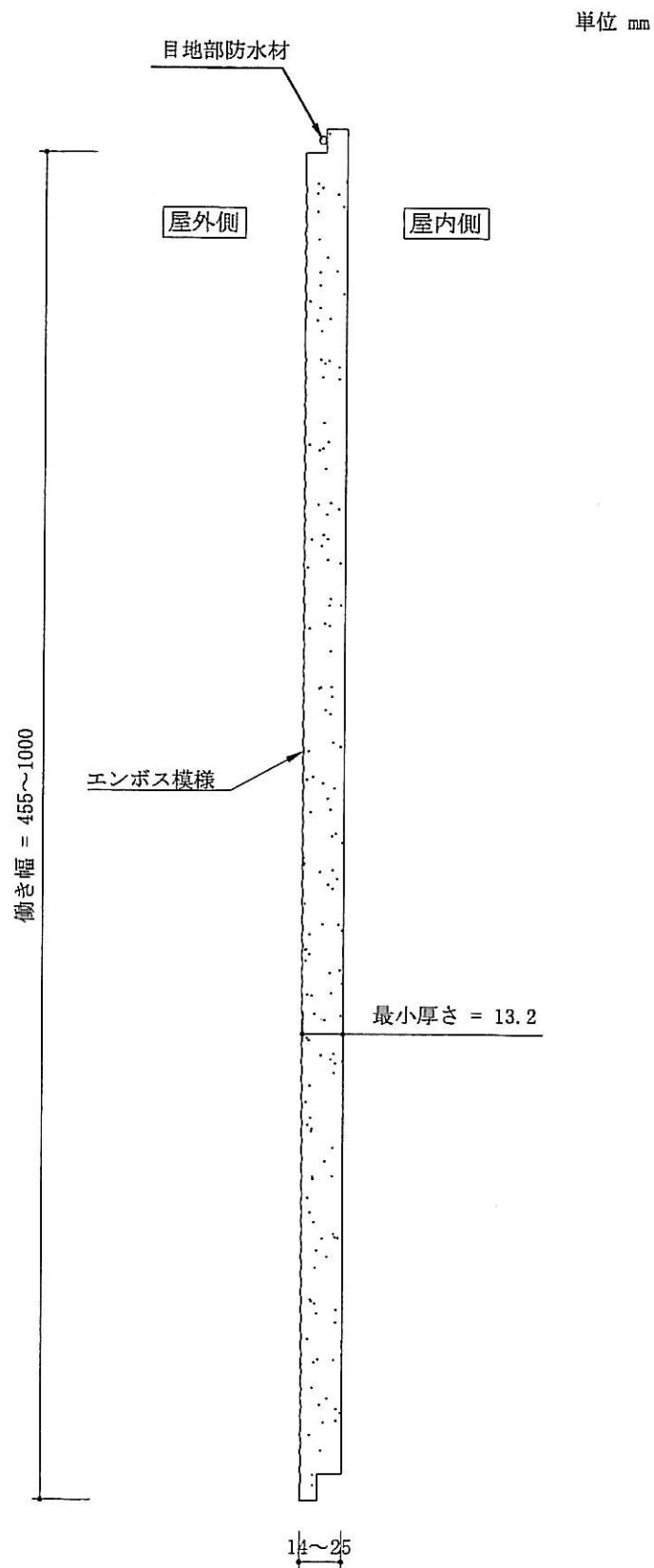


図2 構造説明図



外装下地材形状図

図3 構造説明図

6. 施工方法：

施工図を図4に示す。

施工方法は以下の手順で行う。

(1) 下地の取付け

たて枠は反り曲がりのないものを使用し、土台と垂直に500mm以下の間隔で取付ける。

(2) 構造用面材の取付け

構造用面材を、構造用面材固定用留付材を用いて、たて枠の表面等に取り付ける。

構造用面材の横目地部には転び止めを取付ける。

(3) 防水紙の張付け(用いる場合)

防水紙は、重ね代を縦、横100mm以上とり、防水紙固定用留付材を用いて、構造用面材の表面に仮留めする。なお、張付ける際にはたるみ、しわのないように張付ける。

(4) 胴縁の取付け

胴縁は、防水紙又は構造用面材の表面に胴縁固定用留付材を用いて取付ける。

(5) 外装下地材の取付け

外装下地材は、幅方向の目地が連続しないように千鳥に取り付ける。

外装下地材の縦目地は目透かし目地とし、6～8mmの隙間を設ける。

(6) 外装材の施工

① 下塗り

こて圧を十分にかけ塗付け、2.5mm厚程度に下塗りする。

② 補強材伏込み

下塗り後、直ちに補強材を張り、コテで押えて下塗り材と馴染ませる。

補強材の重ね代は100mm以上とし、たるみ、しわのないように施工する。

③ 上塗り

補強材伏込み後、1日以上養生期間をとり、1.5mm厚程度に塗り込む。

(7) 断熱材の充てん

断熱材は、たて枠間に充てんする。

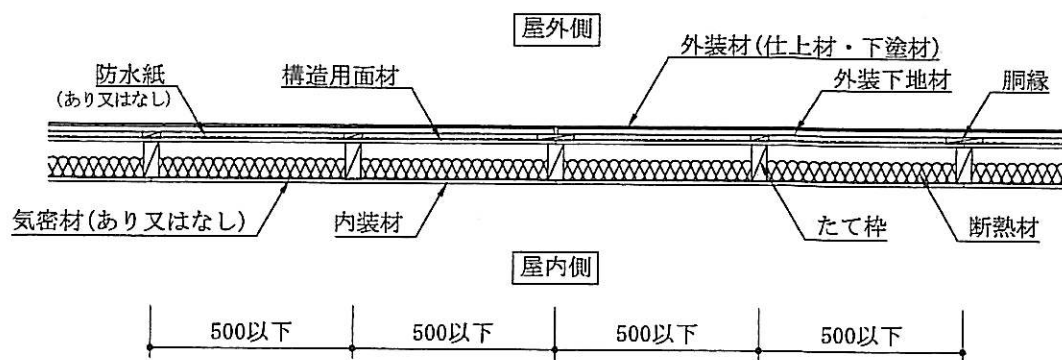
(8) 気密材の張付け(用いる場合)

気密材は横張又は縦張とし、上下又は左右の重ね代を100mm以上とし、気密材固定用留付材を用いて、断熱材の室内側に張付ける。なお、張付ける際にはたるみ、しわのないように張付ける。

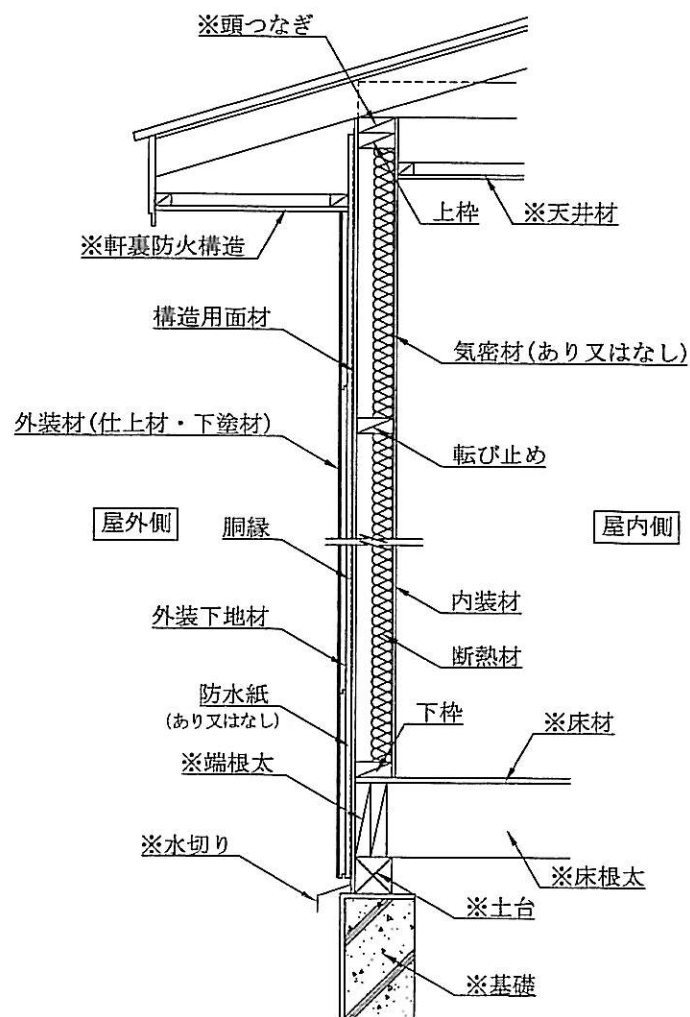
(9) 内装材の取付け

内装材は、内装材固定用留付材を用いてたて枠、上枠、下枠及び転び止めに留付ける。又、目地部には内装材用目地処理材を施し、平滑に仕上げる。

単位 mm



水平断面図



鉛直断面図

図 4 施工図